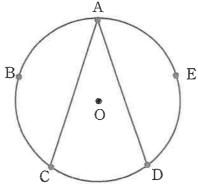
- 1. 次の問いに答えよ。
- (1) $12a^3b^4\div\left(-\frac{3}{5}a^2b\right)$ を計算せよ。

(2) $\sqrt{54} \div 3\sqrt{2} + \sqrt{6} \times 5\sqrt{2} - \frac{6}{\sqrt{3}}$ を計算せよ。

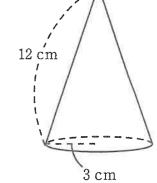
(3) 次の 2 次方程式を解け。 (2x-3)(x+4) = 2(x-5)

(4) 次の資料は、生徒9人の10点満点の小テストの結果である。平均値が6点であるとき、aの値と第3四分位数を求めよ。5,9,6,7,1,9,3,6,a

(5) 下の図で、A、B、C、D、E は円 O を 5 等分する点である。このとき、∠CAD を求めよ。



(6) 下の図のような、底面の半径が 3 cm、母線の長さが 12 cm の 円すいがある。この円すいの①体積、②表面積をそれぞれ求め よ。ただし、円周率はπとする。



小計

- 2. 1 つのさいころを 2 回続けて投げて、1 回目に出た数を a, 2 回目に出た数を b とする。次の問いに答えよ。
 - (1) \sqrt{ab} が整数となる (a,b) の組は何通りか。
- (2) x についての方程式 ax=b の解が整数となる確率を求めよ。

(3) $\frac{1}{a} + \frac{1}{b}$ の値が 1 以下になる確率を求めよ。

2025年度 甲南高等学校入学考査 第3考査『数学』 2枚のうちその2

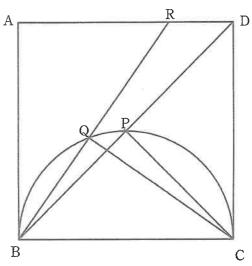
- 3. ある学校のテニス部の部員は、昨年は全員で45人であった。今年は男子が30%増え、女子が20%減ったので、全体で1人増えた。 次の問いに答えよ。
 - (1) 昨年の男子部員をx人,女子部員をy人とする。 xとyを求めるための連立方程式を作れ。
- (2) 今年の男子,女子それぞれの部員の人数を求めよ。

小計

4. 右の図のように、1 辺が $2\sqrt{3}$ の正方形 ABCD があり、BC を直径とする半円と BD との交点を P とする。

さらに、BP上に点Qをとり、BQの延長とADとの交点をRとする。次の問いに答えよ。

- (1) BD, CP の長さをそれぞれ求めよ。 (2) \triangle CPQ \triangle \triangle BRD を証明せよ。

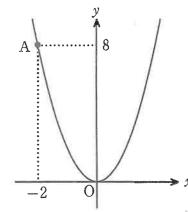


(3) ∠PBQ=15°のとき、線分 PQ の長さを求めよ。

小計

- 5. 右の図のように $y=ax^2(a>0)$ のグラフがあり、点 A(-2,8)を通る。このグラフ上に、x座標が t である点 P、t+3 である点 Q、 t+4 である点 R をそれぞれとる。次の問いに答えよ。
- (1) aの値を求めよ。
- (2) t=-1 のとき,次の問いに答えよ。
 - ① 直線 PR の式を求めよ。

② △PQR の面積を求めよ。



(3) 直線 QR の傾きが直線 PR の傾きの $\frac{3}{2}$ 倍である。 このとき、t の値を求めよ。

2025年度 甲南高等学校入学考査 第3考査『数学』 2枚のうちその1

受験番号

- 1. 次の問いに答えよ。
- (1) $12a^3b^4\div\left(-\frac{3}{5}a^2b\right)$ を計算せよ。

$$12a^3b^4 \times \left(-\frac{5}{3a^2b}\right) = -20ab^3$$

(3) 次の2次方程式を解け。

$$(2x-3)(x+4)=2(x-5)$$

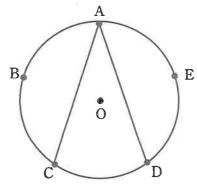
$$2x^2 + 3x - 2 = 0$$

$$x = \frac{-3 \pm \sqrt{25}}{4} = \frac{-3 \pm 5}{4}$$

$$x = \frac{1}{2}, -2$$

(5) 下の図で、A、B、C、D、E は円 O を 5 等分する点である。 このとき、∠CAD を求めよ。 A

$$(360 \div 5) \times \frac{1}{2} = 36$$



(2) $\sqrt{54} \div 3\sqrt{2} + \sqrt{6} \times 5\sqrt{2} - \frac{6}{\sqrt{3}}$ を計算せよ。

$$\sqrt{3} + 10\sqrt{3} - 2\sqrt{3} = 9\sqrt{3}$$

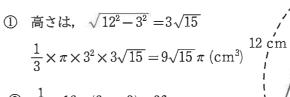
(4) 次の資料は,生徒9人の10点満点の小テストの結果である。 平均値が6点であるとき, *a* の値と第3四分位数を求めよ。

$$46 + a = 54$$
 $a = 8$

並びかえると,

第 3 四分位数は
$$\frac{8+9}{2}$$
 =8.5

(6) 下の図のような、底面の半径が 3 cm、母線の長さが 12 cm の 円すいがある。この円すいの①体積、②表面積をそれぞれ求め よ。ただし、円周率は π とする。



- 3 cm
- ② $\frac{1}{2} \times 12 \times (2\pi \times 3) = 36\pi$ $3^2 \times \pi = 9\pi$ $9\pi + 36\pi = 45\pi \text{ (cm}^2\text{)}$

小計

- 2. 1 つのさいころを 2 回続けて投げて、1 回目に出た数を a、2 回目に出た数を b とする。次の問いに答えよ。
 - (1) \sqrt{ab} が整数となる (a,b) の組は何通りか。

$$(a, b) = (1, 1), (1, 4), (2, 2)$$

(5,5), (6,6)

8通り

(2) xについての方程式 ax=b の解が整数となる確率を求めよ。

$$x = \frac{b}{a}$$
 が整数となればよい。

右の図は縦 a, 横 b を示す。

よって、
$$\frac{14}{36} = \frac{7}{18}$$

	1	2	3	4	5	6
1	0	0	0	0	0	0
2		0		0		0
3			0			0
4				0		
5					0	
6						0

(3) $\frac{1}{a} + \frac{1}{h}$ の値が 1 以下になる確率を求めよ。

(2)と同様に考える。

右の図より、<u>25</u>

	1	2	3	4	5	6
1						
2		0	0	0	0	0
3		0	0	0	0	0
4		0	0	0	0	0
5		0	0	0	0	0
6		0	0	0	0	0

小計

2025年度 甲南高等学校入学考査 第3考査『数学』 2枚のうちその2

受験番号

- 3. ある学校のテニス部の部員は、昨年は全員で45人であった。今年は男子が30%増え、女子が20%減ったので、全体で1人増えた。 次の問いに答えよ。
- (1) 昨年の男子部員を x 人, 女子部員を y 人とする。 xと yを求めるための連立方程式を作れ。

$$\begin{cases} x + y = 45 \\ 1.3x + 0.8y = 46 \end{cases}$$

(2) 今年の男子,女子それぞれの部員の人数を求めよ。

$$\begin{cases} x + y = 45 & \cdots \text{ } \end{cases}$$

よって、今年の男子と女子の人数は、

$$[1.3x + 0.8y = 46 \cdots]$$
 男子: $20 \times 1.3 = 26$ 人

女子: 25×0.8=20 人

$$5x = 100 \qquad x = 20$$

y = 25

小計

- 4. 右の図のように、1辺が $2\sqrt{3}$ の正方形 ABCD があり、BC を直径とする半円と BD との交点を P とする。 さらに、 \overrightarrow{BP} 上に点 Q をとり、BQ の延長と AD との交点を R とする。次の問いに答えよ。
 - (1) BD, CP の長さをそれぞれ求めよ。 (2) \triangle CPQ \hookrightarrow \triangle BRD を証明せよ。

$$BD = 2\sqrt{3} \times \sqrt{2} = 2\sqrt{6}$$

 $BP = CP = \sqrt{6}$

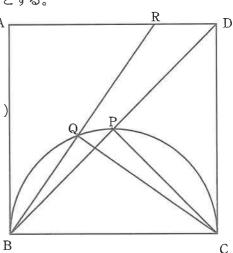
 \triangle CPQ \triangle BRD \triangle BRD

∠PCQ=∠RBD …① (PQに対する円周角より)

$$\angle RDB = \angle PBC = 45^{\circ}$$

∠PBC=∠PQC(PCに対する円周角より)

①, ②より, 2組の角がそれそれ等しいので,



(3) ∠PBQ=15° のとき、線分 PQ の長さを求めよ。

よって、BR =
$$\frac{2}{\sqrt{3}}$$
AB = 4 AR = 2 RD = $2\sqrt{3}$ - 2

CP: PQ=BR: RD

 $\sqrt{6}$: PQ= 4: $(2\sqrt{3}-2)$

$$4PQ = \sqrt{6}(2\sqrt{3} - 2)$$

$$PQ = \frac{3\sqrt{2} - \sqrt{6}}{2}$$

小計

- 5. 右の図のように $y=ax^2(a>0)$ のグラフがあり、点 A(-2,8)を通る。このグラフ上に、x座標が tである点 P、t+3 である点 Q、 t+4 である点 R をそれぞれとる。次の問いに答えよ。
- (1) aの値を求めよ。

$$8 = a \times (-2)^2$$
 $a = 2$

- (2) t=-1 のとき、次の問いに答えよ。
 - ① 直線 PR の式を求めよ。

$$y=2x^2$$
 P(-1,2) R(3,18)

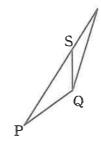
y=ax+b に代入

$$\begin{cases} -a+b=2\\ 3a+b=18 \end{cases}$$

$$a=4, b=6$$

したがって、y=4x+6

② △PQR の面積を求めよ。



点 Q と x 座標が同じで,

直線 PR 上の点を S とする。

S(2, 14)

 $\triangle PQR = \triangle PQS + \triangle RQS = \frac{1}{2} \times 6 \times 3 + \frac{1}{2} \times 6 \times 1 = 12$

(3) 直線 QR の傾きが直線 PR の傾きの $\frac{3}{2}$ 倍である。 このとき,t の値を求めよ。

直線 PQ の傾き:
$$2[(t+3)+(t+4)]=4t+14$$

直線 PR の傾き:
$$2\{t+(t+4)\}=4t+8$$

$$4t+14=\frac{3}{2}(4t+8)$$
 $t=1$

小計